

～中間決算報告会開催～

2025年度中間決算について

10月28日(火)10時00分より、大阪・南港ターミナル会議室において中間決算連絡会を開催し、会社の2025年度中間決算(当期)について説明を受けましたので報告します。

【出席者】 [組合] 島田執行委員長、木元書記長、重成書記次長、大橋執行委員、馬場執行委員
[会社] 久米総務部長、松元主任

《2025年度の中間決算状況についての報告事項》

上期(4～9月)中間決算額は営業収入で30億8,668万円(対前年比:104%)、営業支出は30億3,118万円(対前年比:104%)となり、経常利益は5,852万円となりました。前年と比較し営業費用が大幅に増加しており、前年度比で経常利益は1,860万円の減益となりました。

営業費用の大幅な増加要因として運送料と派遣作業料の増加が主となっております。原価率が東日本営業部では前年度比で2%弱増加し80.63%、西日本営業部でも同様の増加率で68.13%と増収・減益の一因となっておりますが予算計画の1,044万円の黒字に向けては大きく上回っております。

また、ここ最近では事務所移転や拡張・拡張が増えており、これらによる財務面への影響についてですが100%を下回ることが望ましいとされる固定費率を見ると現状40%代で推移しており会社運営へ影響を及ぼすほどの数字ではありません。今のところ阪急阪神エクスプレス(以下HEX社)は黒字を維持しておりますが、今後大きな特需が見込まれないことから機能分担会社である我々阪急阪神ロジパートナーズ(以下HLP社)も予断を許さない状況となっております今後厳しい状況が予想されます。

《組合の見解》

HLP社では営業費用の増加に加え標準運賃の改定影響も大きく昨年度と比較すると黒字を維持しているものの経常利益は減少しております。業務の効率化を図り、支出を抑えていくことでさらなる収支改善につながっていくことは間違いありません。組合員の労働環境改善にむけて事務所の移転や拡張・改築は必要不可欠ではありますが適切な支出かどうかは注視していく必要があります。

HEX社も昨年度の赤字を踏まえるとまだまだ現状で満足することなく更なる増益を目指しております。そこにHLP社として会社・組合員が改めて一丸となり改善を図り貢献することで春闘を勝ち取ることを考えております。改めて組合員一人ひとりができることを行っていく会社全体で協力し乗り切っていきましょう。執行部も皆様の代表として目標達成に向けて頑張っていきますのでご協力よろしくお願いいたします。

—以 上—

阪急阪神交通社グループ労働組合連合会 ホームページリニューアル(ニュースにてお知らせします。)

アドレス <http://www.heiu.net/> パスワードは、各職場の班長または組合執行部までお問い合わせ下さい。